

## 元年度知事広聴での御意見に対する主な対応状況

いただいた御意見等	対応
<b>○首都圏での農産物販売（7月12日 裾野市・長泉町・清水町）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業がビジネスとして成り立つシステムとして、販売や流通に着目している。高速バスを利用した販路開拓をしたいので協力してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販路拡大や、6次産業化などの取組に、東部農林事務所が協力していく</li> </ul>
<b>○県内企業の人材確保（9月11日 牧之原市・吉田町）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイバーシティーなどに積極的に取り組んでいるが採用難で新卒採用が困難。高校生や大学生への企業人講話などを増やし、地元企業への関心を高めれば、優秀な人材が県外に流出するのを防げるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生の仕事体験、高校生の国内外でのインターンシップや企業人講話などで職業や地元企業への関心を高めている。職業体験に関するガイドブックへの掲載や、高校への紹介に向け相談にのっていく。</li> </ul>
<b>○日本語を使った観光（10月8日 下田市、南伊豆町）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人観光客には英語でおもてなしが行われているが、日本語ガイドマップ静岡県版を作り、日本語を味わい学べるようなインバウンド対策も良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人観光客受入環境の整備に対する支援として、多言語によるガイドマップ作成が可能。</li> <li>・日本文化を楽しむ外国人観光客向けの商品造成については、静岡ツーリズムビューロー（T S J）が支援しており、具体的な提案にはT S Jと連携して相談に応じる。</li> </ul>
<b>○高齢者の移動手段（11月13日 磐田市）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・デイサービスの車を、送迎以外の時間帯に活用できれば、高齢者の外出を促すことや、危険運転防止にもつながるのではないか。県として地域における高齢者の移動手段の提供を検討してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デイサービスの空き車両等を活用した取組は県内でも事例がある。</li> <li>・県は、公共交通の充実とともに、市町が地域の人材と資源を活用した様々な移動サービスを立ち上げられるよう、今後も支援の仕組みづくりに取り組んでいく。</li> </ul>
<b>○音声を使った観光案内（11月28日 静岡市）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドラマ型の音声案内を活用した観光を広く展開していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本平夢テラスでのA Iスピーカーによる音声観光案内の実現に向け、関係者との調整等に県も協力をしていく。</li> </ul>
<b>○大鹿窪遺跡の活用（1月22日 富士宮市）※傍聴者</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大鹿窪遺跡を知らない人も多いので、県でも情報発信して欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「しずおか文化財ウィーク」の協賛事業として「柚野の里まつり」に参加いただき、県と市町等が連携してパンフレットやホームページで広報していく。</li> </ul>
<b>○ベビーステーション事業の県内展開（1月22日 富士宮市）※傍聴者</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士宮市内では9割のコンビニで紙おむつを販売している。他市町にも母子の外出支援を拡げたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援団体と連携した優良事例として、ベビーステーション事業を情報発信し、他市町に紹介していく。</li> </ul>